

## 財務

箱根町土地開発公社の  
今後の在り方について

**Q** 土地開発公社に先行取得させた土地の現況と買い戻し計画を伺う。

**A** また、今後の土地開発公社のあり方をどのように考えるか。

現在、町が公社に取得してもらった土地は、仙石原の町道仙20号線道路用地などの山林2千999㎡、小田原箱根道路路収容移転者代替用地の約320㎡、宮城野温泉会館隣接地485㎡、森林公園用

地(芦之湯の残り)11万7千426㎡、仙石原交差点改良工事事業用地約218㎡と仙石原公園隣接地約2千607㎡の6物件で、合計12万4千90㎡で簿価は本年3月末で9億9千936万円である。

なお買い戻し計画は、仙石原公園用地が箱根町総合計画の後期基本計画に位置づけてあるが、町の厳しい財政状況から、他の物件は具体的な計画は無いのが現状である。

## 学校教育

(仮称)幼児学園開設に伴う教育及び  
保育に対する考え方について

**Q** (仮称)仙石原幼児学園について、次の3点を伺う。

1、仙石原地域とその他の地域との教育・保育に格差が生じないか

2、仙石原地域以外の幼稚園・保育園は新たな施設ができるまでどのように行うのか

3、今後、湯本、中央地域と順次建設予定であるが、既存施設等利用し、早期解決の考えはあるか

**A** あるのであわせてお答えする。

(仮称)仙石原幼児学園の幼稚園では、1つに夏季休業中の預かり保育、2つに教育時間終了後の預かり保育、3つに給食の実施等。また、保育園では、1つに0～1歳児の幼児保育、2つに11時間開所、3つに休日保育の実施を計画している。

次に、(仮称)仙石原幼児学園以外の既に開設している幼稚園では、1つに夏季休業中の預かり保育、2つに教育時間

終了後の預かり保育。また、保育園では、1つに0～1歳児の幼児保育、2つに11時間開所を計画している。

いずれにしても(仮称)仙石原幼児学園管理運営計画の策定に伴い、既に開設している幼稚園、保育園の教育、保育のあり方について格差が生じないようにしていかねばならないと考えている。

3点目について、現在の財政状況を考えると、(仮称)幼児学園基本構想の実現は非常に厳しいと理解していただきたい。そこでご質問の既存の学校等を有効利用することについては重要課題と認識している。

先月、立ち上げた箱根町立小中学校施設適正規模配置計画協議会の中で、小中学校統廃合に関する公共施設等の整備、あるいは校舎等跡地利用などについては協議事項として位置づけをした。今後幼児学園計画を含んで協議会で議論していただき、さらに議会とも協議しながら方向性を決めていきたいと考えている。

## 企画

箱根町第4次総合計画の  
後期基本計画推進について

**Q** 箱根町第4次総合計画の後期基本計画の今後の推進と、事業優先順位はどのように図られるのか。

また、地域計画の中で大平台地区の計画はどのように展開されるのか。将来を考えると箱根登山鉄道大平台駅より踏切までの歩道設置が必要と考えるか。

**A** 計画の推進は住民の皆さんに町政に対する理解を深めていただく「住民

と行政との協働によるまちづくり」を進めて行く。

事業順位については、7つプロジェクトとして提示し、具体的な展開方法を示し、事業を、町の重点施策として優先して推進していきたい。

しかし長引く景気の低迷による影響は町財政を圧迫し、過去に経験が無いほど大変厳しい状況にありますので、計画した全てを直ちに実施する

ことは難しい状況にあります。

次に大平台駅までの歩道整備については、地区の特性を生かし、現況道路の有効に利用するなど、住民、観光客が親しみを持つ安全と安心の道として、散策の楽しめる道となるよう検討していきたい。

先ほども財政状況を示すこととあり、すぐに着手するのでは厳しいと考えられるので、事業に向けた環境整備を含め、地域との協働事業として進めていきたいのでご理解いただきたいと思います。